

# 研 創 新 聞

## 9月29日、「越後にいきる家の森」作業体験バスツアーを開催します。

第28回目の森の作業体験会を、阿賀町上川地区の山林で行います。お風は上川温泉で汗を流し、午後は近くの栗園でのフリータイムです。高速度・安田インターからの乗降も可能です。参加費千円で楽しめます。申し込みは、新潟県森林組合連合会TEL:025-262-2320 FAX:025-261-0526



確かにお金さえ出せば、何でも手に入る時代ではありません。が、その便利さを担うヒトが居ればこそ。

### 「奥阿賀野山」の魅力を伝える「奥阿賀野山」の魅力を伝える「奥阿賀野山」の魅力を伝える



木はお米や野菜と一緒に育ちます。土地の特性、気候風土に影響をされます。美味しさを発見するには、育てる人の熱意や経験・専門力によって全く違います。次に、木材製品として商品開発力の違いが。



我が家のルーツは奥阿賀野です。多くの人の思いと手によって育まれ、今ここに存在しています。語り継ぎましょう。

山に育ち、ここに運ばれ、花開く。この瞬間は、第二の生命誕生。診立てによって、姿・形・色柄が変わります。感動です。

### 道具を使いこなす手仕事に、究極の美を追求する

7月27日、日経新聞「世界最大級のデザイン大賞『木の技』食器最高賞に。山崎金属(燕市)」の記事に感動しました。この美感性と繊細な職人芸は日本人の誇りです。木の家の一掃です。先ずは、「ノギリ、カンナ、ノミ」等の大工道具をつくる職人の手仕事です。工業製品ではプロの使う道具にはなりません。同時に、先人が発明した「差し金」には、今更ながら驚嘆します。ルート計算、三角関数、田周率、等々、超高度な数学計算をする為の道具なのです。機械まかせの効率・利便性は、軽薄・無粋で紙一重です。



### 10月23日、演題「中村天風の生き方を学ぶ」

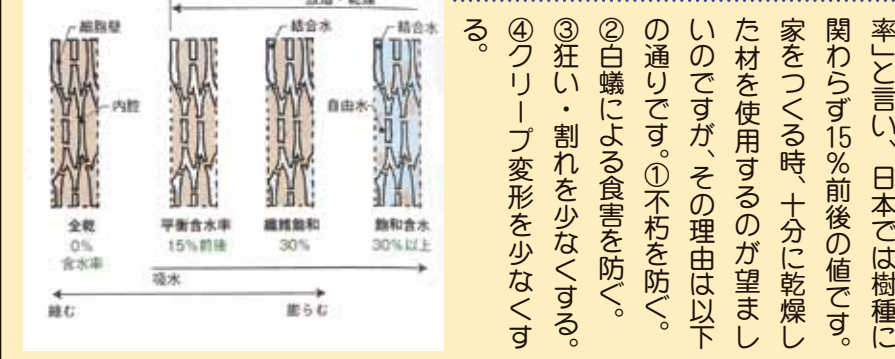
多分、新潟県内では初めてだと思いますが、天風会の講演会を開催します。「天風会」とは、心と身体を統一する実践により、命の力を高め、幸福と生き甲斐のある人生を体得する会です。創始者・哲人・中村天風先生は、自己の教養な運命と病苦を闘いつつ、インド・

ヒマラヤ山で、三方の行法を体得され「心身統一法」を見聞されました。昭和37年に財団法人に認可、平成23年に公益財団法人に認定され現在に至っています。講師は元衆議院議員で、第一次安倍内閣の時に財務大臣を務めた、尾身幸次理事長です。

日時：10月23日(水) 18:30~20:30  
会場：ネクススト21  
19階「五十嵐邸ガーデン・結」  
新潟市中央区西堀通り6番町 866  
受講費：無料 定員：80名  
申込先：FAX:025-260-0888(田中)  
当社に電話又はファックスを頂ければ、代理申し込みをします。

### 木材の乾燥状態を示す「含水率」

含水率は、木材に対する水分の比率を言います。その水分は、個々の細胞の間を自由に動くことのできる「自由水」、細胞中にある「結合水」の2種類があります。そのうち、自由水の量は重量の増減に影響するだけです。結合水の変化は木材の性質に大きな影響を及ぼします。木材は、長期間放置しておくと、外気の湿度に対応して、内部の水分を放出したり吸収したりして平衡状態を保ちます。この時の含水率を「平衡含水率」といいます。



### 永く愛され100年住む家

私たちの顔と心と技の見える家づくり

株式会社 研創 KENSO

〒959-2205 新潟県阿賀野市寺社246  
TEL:0250-68-3212 FAX:0250-68-5271  
http://www.kenso.info/ E-mail:info@kenso.info

### 研創新聞八月号が皆様の手に届く頃には残念ながら終わっています

が、来年の八月のためお知らせ致します。新潟県護国神社では毎年八月十四日から十六日までの三日間「万灯みたま祭り」が行われます。万(よろず)の燈(とも)も(し)び(を)もつ(み)たまを(慰)め、(護)國の(神)に(平)和を(感)謝し、(幸)福と(繁)栄を(祈)念する(お)祭(り)です。東京の靖国神社では旧盆の七月十三日から十六日に同じ趣向で、「みたま祭り」が行われます。

今から六十八年前に、日本は国の存亡をかけた米國との戦争に敗北しました。その戦争を大東亜戦争と言いましたが、米國は植民地になつてたアジアを解放するための戦争という、その名前が気に入らず「太平洋戦争」と名前を変えさせました。明治以来日本は大きな国を相手にして、三回戦争をしました。ロシアと中国には勝ちましたが、米國に敗けました。八月六日には広島、九日には長崎に原爆を落とされ、三十万人近くの人が亡くなりました。新潟も原爆の予定地に入っていたところ。そして沢山の市民が爆撃等で亡くなり、戦地で戦った沢山の日本の兵隊さんも亡くなりました。そんな兵隊さんのお蔭で今の日本が残ったのです。八月十五日の日本敗北宣言の後もソ連(ロシア)は日本を無法に攻め、六十万人もの兵隊をソ連の捕虜として良い、正しいではなくて、相手様や世間様にとつてです。次に「好かれる」。実はこれが一番むずかしい。幾ら、頭が良く、腕も良く、生真面目でも、人様から煙

てシベリア開拓に連れて行き、戦争が終わつたのに六万人もの兵隊が、重労働と飢えと寒さで亡くなりました。しかし今もそのことについては日本政府は全く抗議もせず、北方四島もとられたままになっています。その様な兵隊さん達の御霊を感謝の気持ちで祭つてあるのが全国の護国神社、そして一番沢山の二百四十六万人の御霊(英霊といひます)を祭つてあるのが靖国神社です。

今年の八月十五日果して安倍首相は日本のトップとしてお参りに行くしてくれるのでしょうか。私は毎年八月十五日に、靖国神社を朝から夕方までお参りをしています。今月は学校の先生が教えてくれない話を子供のために書きました。

たがれ、近寄り難いでは、プロではありませぬ。そこで先ずは、「はい」という明るい返事「きびきび行動」「元氣、洗刺、笑顔で挨拶」の習慣化です。その為、毎朝二十項目の挨拶訓練をしています。が、これがまだまだ、言いつは易し、行つは難し。

### 研創の売れも私達の願い「心」

「他の工務店を退職後に研創へ入社しました。口下手ですが先輩方の仕事を学んで、日々勉強に励みたいと思います。」以上が本人の自己紹介文です。まさに、口下手の典型か?でも、昔から「職人の多弁は役立たず」の言い伝えもあります。(内容省略)

### 耐えて明日を、日々「新たな自分」

7月17日、加藤浩司、成海厚志の両君が一泊二日の東京での研修を終えて無事(?)帰つて来ました。㈩アイウィルの「六カ月間管理者能力養成研修」の最終卒業研修です。研修の基本テーマは「習慣を変える」「考える力を伸ばす」「意識を高める」の三点だけです。だから誰でも出来る簡単なハズです。が、実はこれが...立派です。

### 講師の尾身幸次、天風会理事長の紹介

一面に天風会の講演会のご案内をしていますが、そこで急ぎ、これまでの連載をお休みして、講師の尾身幸次理事長を紹介したいと思います。月刊誌「致知」・2011年発行の3月号に「私の座右銘」と題して理事長の論文が掲載されました。抜粋します。

「欲望は火と燃やせ」...人事を尽くして天命を待つ。私はこの言葉を座右の銘に今日まで歩んできました。七十九歳(今は81歳)になる今年も二つの使命に取り組み世界を奔走しており、私の人生は今も戦いの真つ最中です。功成り名を挙げて悠々自適といった心境ではまったくないのです。

二つの使命のうち一つは、天風会理事長として、心身統一法を確立した我が人生の師、中村天風先生の教えを普及し、一人でも多くの方々に、より良い人生を創造して頂くことです。もう一つは、科学技術政策担当大臣を務めた経験から、七年前に創設した「科学技術と人類の未来に関する国際(STS)フォーラム」の理事長としての活動です。環境問題など、科学技術の発展に伴い生じてきた弊害を克服し、持続可能な未来実現の為の提言を毎年行っています。今では百力国以上の国々から千人以上の各界のトップリーダーが参加する一大ムーブメントとなつていきます。人間として生まれてきた一番の使命は、世の中を少しでも良くするために働くこと。この天風先生の教えを私は実践しているのです。

天風先生は、「人間は欲を捨てることができない、捨てるべきではない。欲望を火と燃やせ」と説かれていました。但し、欲望に自分本位の欲望と、世の中に貢献しようという理想があります。我々はこの理想追求に人事を尽くすべきであり、その先にあるのが安心立命です。そこに至ることが真の幸福を見出すことができるといふ考え方の一つです。

逆に言えば、安心立命の境地に至るためには人事を尽くさなければなりません。つまり、今、自分ができることは全部やる。そして、やり抜いた結果については天命と考えて深く受け入れるという人生観を、私は今日まで貫いてきました。群馬県の貧しい家で生まれ、中学受験に失敗するなど、早くから人生の悲哀や挫折を味わってきました。文字通り死に物狂いの努力によって大学進学を果たしたことから、私は早い時期からこうした人生観を確立していました。そして、この人生観を強固にしてくれたのが、中村天風先生との出会いだったのです。次号に続きます。